

研修会報告

平成 31 年 4 月 25 日

文責：尾池裕子

研修会テーマ 「平成 30 年度細胞診精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 平成 31 年 4 月 21 日（日）14：00～17：00

会場 東北大学医学部 臨床小講堂

司会 石巻赤十字病院 尾池裕子

講演 1 「平成 30 年度細胞診精度管理調査 報告と解説」

座長：石巻赤十字病院 病理部 尾池裕子

講師：石巻赤十字病院 病理部 尾池裕子

東北医科薬科大学病院 病理部 佐藤正樹（代理：宮城県立こども病院 高崎健司）

仙台厚生病院 病理診断科 荒屋敷聖

東北大学病院 病理部 安達友津

東北大学病院 病理部 向美祐希

東北大学病院 病理部 吉田詩織

大崎市民病院 臨床検査部 戸村弘樹

講演 2 「セルフブロックに関するアンケート調査報告」

報告者：石巻赤十字病院 病理部 尾池裕子

講演 3 「セルフブロックの作製方法」

座長：大崎市民病院 臨床検査部 戸村弘樹

講師：公立昭和病院 臨床検査科 濱川真治 技師

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 18 名 実務委員 9 名 計 27 名

内容

本会は、平成 30 年度宮城県臨床検査技師会による精度管理調査・細胞診部門の報告とフォローアップを目的として開催しました。

講演 1 は「平成 30 年度細胞診精度管理調査 報告と解説」として、まず本年の精度管理調査の実施内容説明と結果報告を行い、続いて症例提供者による各設問の解説を行いました。本年の精度管理調査の結果、評価対象設問すべてに正解したのは参加 25 施設中 11 施設、1 問のみ不正解は 12 施設で、正解率平均は 93.4%と良好な成績でした。しかし、評価対象外となった設問も 1 問あり、次年度以降に向けて対策を考える必要があると思われま

した。各設問の解説では、細胞像を供覧しながら重要な細胞所見の取り方やガイドラインに則った判定方法、注意すべきピットフォールなどを聞くことができ、幅広い知識を得ることができました。

講演 2 は「セルフブロックに関するアンケート調査報告」として、精度管理調査と同時に行ったアンケート調査結果の報告を行いました。今後さらに重要な検査ツールとなることが予想されるセルフブロック法について、県内施設の現状と課題を知ることができました。

講演 3 は「セルフブロックの作製方法」として、公立昭和病院 臨床検査科 濱川真治 技師にご講演いただきました。様々なセルフブロック作製方法とその特性について、写真や絵図を用いてとても分かりやすく説明していただきました。また、アンケート調査で多数の施設から挙げられたセルフブロック作製時の悩みに対する解決策も提示していただき、日々の業務にすぐに活かせる内容であったと感じました。

今後も宮臨技精度管理調査やフォローアップ研修会を通して、細胞診に関する基礎から最新情報までの幅広い知識を共有し、県内施設の精度向上に繋げていきたいと考えます。